

経済動向調査レポート

令和 2 年 第 2 四半期

(調査対象：令和 2 年 4 月～6 月)

福崎町商工会

令和 2 年 9 月

【目次】

I. 経済動向のポイント	2
II. 兵庫県の経済・雇用情勢	3
1. 概況（全体の状況）	3
2. 県内の主要業種の概況	7
3. 地域の概況	8
III. 景況調査	13
1. 景況調査について	13
2. 概況（全業種）	14
3. 業種ごとの集計	17
①製造業（有効調査数：160 件）	17
②卸売業（有効調査数：44 件）	18
③小売業（有効調査数：58 件）	19
④サービス業（有効調査数：65 件）	20
⑤建設業（有効調査数：77 件）	21
⑥不動産業（有効調査数：30 件）	22

○本レポート作成の目的

地域の経済・消費動向の現状を把握し、その情報を提供することで小規模事業者が経営方針を明確にし、経営分析および事業計画の策定に有効活用できるようにし、小規模事業者の売上や利益の増進に繋がるなど経営基盤の強化につなげることを目的とします。

○本レポートの作成方法

福崎町商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に他の調査や情報とも比較してレポートを作成します。

I. 経済動向のポイント

【1】兵庫県の経済・雇用情勢

①県内の経済・雇用情勢は、厳しい状況が続いている。

新型コロナウイルス感染症の影響により、景況等・需要・生産・雇用については、悪化の傾向が見られる。但し、倒産件数は、令和元年度と比較して減少している。これは政府の経済対策の影響であると考えられる。

②県内の主要5業種は全て売上高が減少しており、業種毎の対策が重要。

主要5業種（鉄鋼業・各種商品小売業・飲食店・無店舗小売業・不動産業）の売上高は全てにおいて減少している。

③各県民局・県民センターを代表する業種で、悪化傾向にある。

福崎町を管轄する中播磨県民センターでは、「各種商品小売業」「生産用機械機器製造業」の2業種について分析しているが、両業種ともに厳しい傾向にある。

【2】景況調査

①D.I（ディフュージョン・インデックス）による分析。

D.Iとは景況の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示しており、地域別・業種別の分析指標としている。

②全地域で更に低下する厳しい状況であり、福崎町でも同様の傾向。

但陽信用金庫の調査によると福崎町が含まれる「朝来・神崎地域」の業況D.Iは、前期比32.94ポイント低下の▲57.65である。2020年7月～9月期予想でも、今期比4.7ポイント低下の▲62.35と低下する上に、更に大きなマイナスとなる予想である。また、福崎町商工会の全業種の業況D.Iも大幅に低下しており、今後も更に低下すると予想している。



③卸売業・小売業・サービス業・不動産業の4業種では、僅かに改善の予想。

但陽信用金庫の取引先全地域の6業種（製造業・卸売業・小売業・サービス業・建設業・不動産業）の調査では、製造業と建設業を除いた4業種については、2020年7月～9月期（予想）の業況D.I全地域が、僅かではあるが、改善すると予想している。

【3】中小企業診断士からのコメント

大変厳しい状況ではあるが、こんな時こそ、今までの仕事のやり方を見直す「大きなチャンス」でもある。新しい商品やサービスの開発、新規顧客の開拓、非対面ビジネスモデルやテレワーク環境の整備など、「思い切った経営革新」に繋がることを期待している。

（令和2年8月13日 中小企業診断士 荒木慎吾氏）

Ⅱ兵庫県の経済・雇用情勢（「兵庫県の経済・雇用情勢」（令和２年７月２８日）から引用）

Ⅰ．概況（全体の状況）

本県の経済・雇用情勢は、厳しい状況が続いている。
景況等…企業の業況判断は、足もと悪化し、先行きも悪化の見通しである。
需 要…個人消費は、全体として減少している。
輸 出…輸出は、減少している。設備投資は、増加計画にあるものの、下方修正の動き も見られる。
生 産…生産は、減少している。
雇 用…有効求人倍率は、低下している。賃金は、弱い動きとなっている。
金 融…倒産件数は、前年と同水準で推移している。

主要指標の推移

①景況

現状（良い－悪い）構成比（％ポイント）

区 分	R1.9 月	R1.12 月	R2.3 月	R2.6 月(現在)	R2.9 月(予測)
全産業	▲1	▲3	▲9	▲32	▲34
8	7	2	▲20	▲21	▲5
▲ 1	▲5	▲9	▲28	▲30	▲24
▲ 5	▲7	▲15	▲42	▲43	▲31
うち製造業	▲13	▲15	▲17	▲37	▲41
うち非製造業	13	12	0	▲27	▲25

（出所）県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

②需要

項 目	30 年度	R1 年度	R2.2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
商業販売額：億円 （前年度比増減率％）	17,600 (▲ 0.8)	－ (－)	1,356 (+6.0)	1,478 (▲1.0)	1,323 (▲6.6)	1,437 (▲1.4)	－ (－)
乗用車販売台数：台 （前年度比増減率％）	176,883 (+1.1)	－ (－)	14,767 ▲ 11.5	18,220 (▲12.7)	8,585 (▲33.9)	6,550 (▲49.8)	10,560 (▲29.8)
新設住宅着工数：戸 （前年度比増減率％）	31,774 (▲ 5.0)	－ (－)	1,976 (▲ 32.5)	2,867 (+7.5)	3,250 (+0.8)	2,286 (+21.5)	－ (－)
神戸港輸出額：億円 （前年度比増減率％）	58,596 (+2.9)	53,653 (▲ 8.4)	4,213 (▲ 15.6)	4,845 (▲13.7)	4,156 (▲13.4)	3,275 (▲23.0)	3,714 (▲22.3)

（出所）商業動態統計（経済産業省）、新車登録速報（日本自動車販売協会連合会兵庫県支部）、軽自動車新車届出状況（兵庫県軽自動車協会）、住宅着工統計（国土交通省）、神戸港貿易概況（神戸税関）（商業動態統計調査の前年度比増減率は全店ベース）

項 目	28 年度	29 年度	30 年度	R1 年度	R2 年度(計画)
設備投資額 前年度比増減率：％	+24.4	▲8.1	+0.8	▲1.2	+15.5

（出所）県内企業短期経済観測調査（日本銀行神戸支店）

③生産

項 目	30 年度	R1 年度	R2.1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
鉱工業生産指数：H27=100 (前月比増減率%)	103.9 (+0.7)	103.6 (▲0.4)	103.8 (+3.6)	96.6 (▲6.9)	98.6 (+2.1)	90.1 (▲8.6)	85.0 (▲5.7)

(月次は季節調整値、年度は原指数。年度増減率は前年度比較)

(出所) 兵庫県鉱工業指数 (県統計課)

④雇用

項 目	30 年度	R1 年度	R1.1 月	2 月	3 月	4 月	5 月
有効求人倍率(季節調整値)：倍	1.45	1.38	1.31	1.26	1.21	1.13	1.05
新規求人数(原数値)：人 (前年度比増減率%)	36,004 (+3.8)	33,517 (▲6.9)	32,350 (▲20.2)	32,491 (▲17.6)	28,367 (▲13.5)	23,868 (▲32.3)	23,315 (▲32.3)
現金給与総額：円 (前年度比増減率%)	304,738 (+2.2)	312,795 (+2.7)	267,689 (▲0.8)	253,057 (▲0.3)	261,718 (▲2.5)	262,368 (▲4.0)	260,083 (▲2.8)

(有効求人倍率の年度値は原数値、現金給与総額の年度値は年平均) (出所) 一般職業紹介状況(厚生労働省

兵庫労働局)、毎月勤労統計調査地方調査(県統計課)

⑤金融

項 目	30 年度	R1 年度	R2.2 月	3 月	4 月	5 月	6 月
企業倒産件数：件 (前年度比増減率%)	427 (▲8.6)	471 (10.3)	32 (+28.0)	35 (▲25.5)	43 (+16.2)	10 (▲70.6)	40 (0.0)
企業倒産負債総額：億円 (前年度比増減率%)	578 (▲8.6)	498 (▲13.9)	36 (+3.2)	24 (▲87.2)	61 (+4.6)	20 (▲48.0)	33 (▲46.8)

(出所) 兵庫県企業倒産状況 (東京商工サーチ神戸支店)

(参考１)全国景気の現状についての内閣府のコメント

景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。

- ・個人消費は、このところ持ち直している。
- ・設備投資は、このところ弱含んでいる。
- ・輸出は、感染症の影響は残るものの、下げ止まりつつある。
- ・生産は、総じてみれば、減少しているものの、このところ一部に持ち直しの兆しもみられる。
- ・企業収益は、感染症の影響により、急速に減少している。
- ・企業の業況判断は、厳しさは残るものの、改善の動きがみられる。
- ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。

先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、令和２年７月豪雨等の経済に与える影響や金融資本市場の変動に十分留意する必要がある。

(令和２年７月２２日 内閣府「月例経済報告」)

(参考２)県内景気の現状についての日本銀行神戸支店のコメント

管内の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、一段と悪化したあと、厳しい状態が続いている。

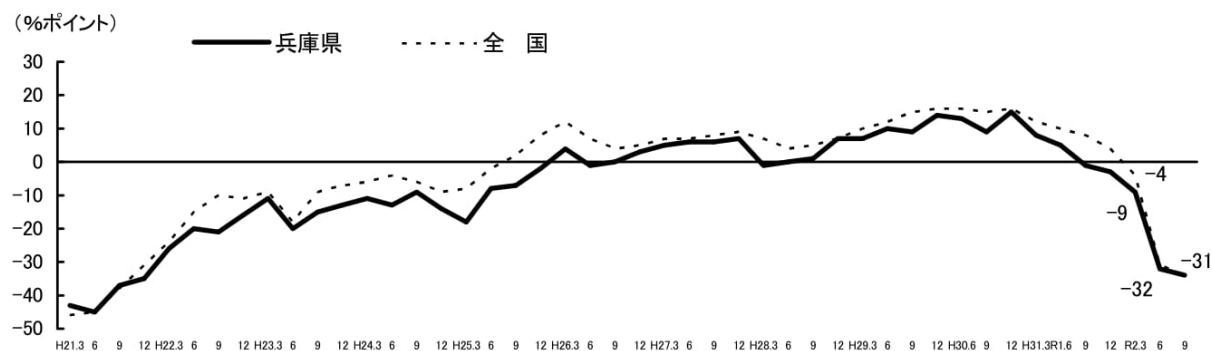
個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少したあと、足もとでは下げ止まりつつある。設備投資は、高水準で推移しているものの、慎重化の動きが広がっている。住宅投資は、全体では横ばい圏内の動きとなっているものの、持家を中心に新型コロナウイルス感染症の影響がみられている。公共投資は、増加している。輸出は、大幅に減少している。

こうした中、生産は、新型コロナウイルス感染症の影響により、大幅に減少している。また、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により、有効求人倍率が一段と低下している。雇用者所得は、減少している。消費者物価(除く生鮮食品)は、前年を上回って推移している。

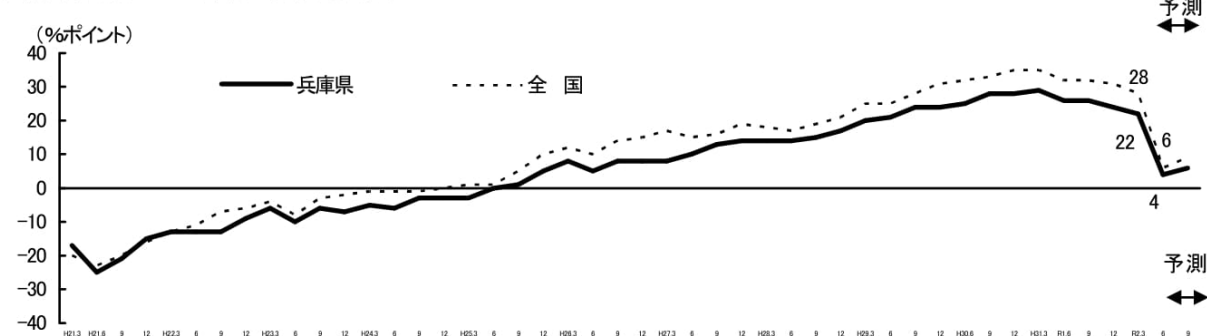
(令和２年７月７日 日本銀行神戸支店「管内金融経済概況」)

日本銀行神戸支店県内企業短期経済観測調査結果の推移

業況判断D I（良い－悪いの推移）



雇用人員判断D I（不足－過剰の推移）



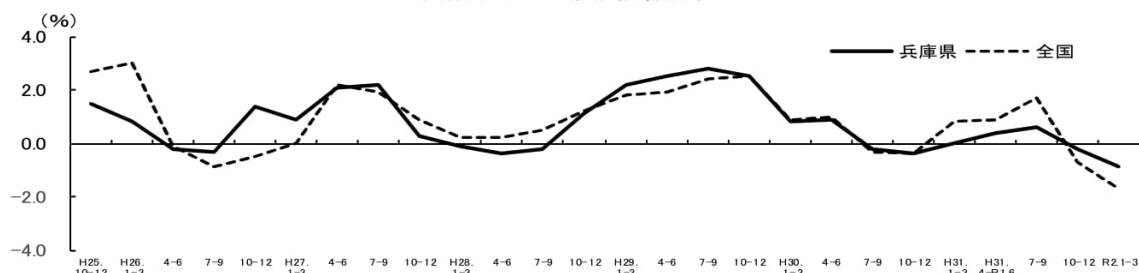
出所：令和2年3月全国・県内企業短期経済観測調査(日本銀行、同神戸支店)

GDP

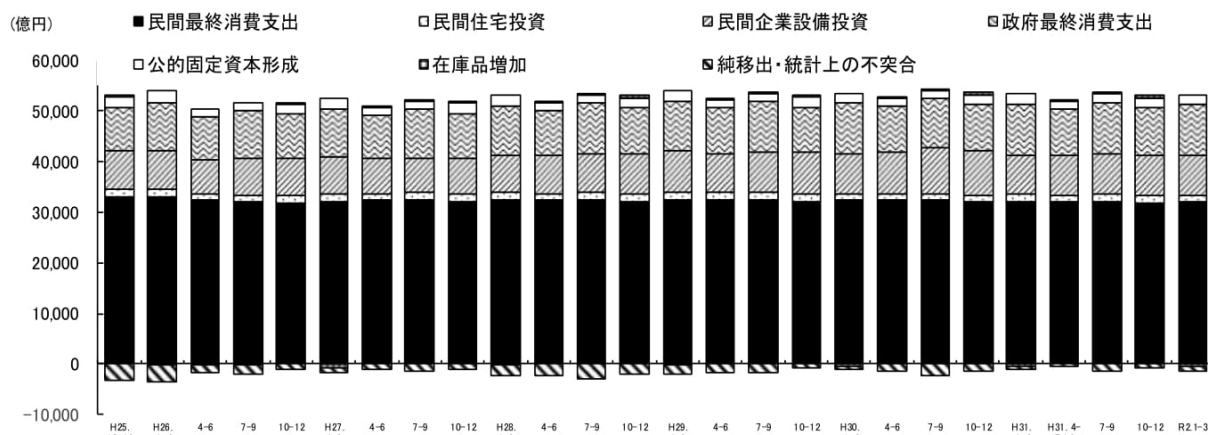


実質GDP（R2.1～3期）は、民間最終消費支出、民間企業設備投資及び公的固定資本形成がマイナスで推移したものの、民間住宅投資、政府最終消費支出がプラスで推移し、対前年同期比0.9%減となった。

四半期別GDP（実質）増減率



四半期別兵庫県GDP（実質）



出所：四半期別GDP速報（内閣府）、四半期別県内GDP速報（県統計課）

兵庫県・四半期別GDP(実質)(億円、増減率%)

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
GDP(実質)	201,737	203,000	207,396	207,577	207,562
前年度比	1.1	0.6	2.2	0.1	0.0

	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3
GDP(実質)	52,284	51,140	51,884	52,290	52,305	51,364	52,170	52,211	51,817
前年度比	0.8	0.9	▲0.2	▲0.4	0.0	0.4	0.6	▲0.2	▲0.9

兵庫県・四半期別GDP(名目)(億円、増減率%)

	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度
GDP(名目)	208,294	209,378	213,288	213,097	213,445
前年度比	2.6	0.5	1.9	▲0.1	0.2

	H30.1-3	H30.4-6	H30.7-9	H30.10-12	H31.1-3	H31.4-R1.6	R1.7-9	R1.10-12	R2.1-3
GDP(名目)	53,167	53,084	52,444	54,192	53,273	53,218	52,903	54,444	52,880
前年度比	1.2	0.9	▲0.6	▲1.0	0.2	0.3	0.9	0.5	▲0.7

注1) 今後公表される年度確報値とのあいだに若干の差異が生じる場合がある。

また、推計精度をより高めるため、各計数は過去にさかのぼって変更されることがある。

前年度比は原数値の増減を示す。

注2) 数値は、平成23年基準値となっている。

注3) 29年度までの年度数値は「県民経済計算」(県統計課)

2. 県内の主要業種の概況

業 種	概 況
鉄 鋼 業	<p>昨年から、米中貿易摩擦の影響で自動車の需要が減少し、自動車向け鋼材需要が減少していることに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界的に経済活動が停滞しており、今後もさらなる需要減少が見込まれる。</p> <p>働き方改革の取組として、RPAによる自動化に取り組んでおり、これまでに月約2,500時間以上の業務時間削減を実現している。収益性やキャッシュ・フローとのバランスも考慮しつつ、今後も引き続き業務を見直し、省人化・省力化を進める。</p>
各種商品小売業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、5月は客数・売上ともに減少している。緊急事態宣言及び休業要請の解除後から、営業時間を短縮し営業しているが、来店客の平均滞留時間は前年を下回っており、長い滞在時間にならないように気をつけている様子が窺える。消費傾向としては、食品購買客数が、日用品や衣料品の購買客数を上回っている。また、インバウンド客は大幅に減少している。</p>

飲 食 店	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、5月の売上は前年同月と比較すると3割程度減少している。</p> <p>3月の来店客数が対前年比2割以上減少したことで、4月から国内の全店舗でテークアウトを拡大し、売上の向上を図っている。昨年から都心部で、メニュー数を絞りコンパクト化したスタイルの店舗出店を強化しており、売上は通常店舗の1.3倍となっている。また、海外店舗も引き続き積極的に出店を行う計画をしている。</p>
無 店 舗 小 売 業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、オンラインショッピング需要が高まり、4月のショッピングE コマース流通総額は、前年同月比で約6割増加した。一方、インターネット旅行サービスは、外出自粛の影響を強く受け、3月以降の予約はキャンセルが相次いだ。</p> <p>人との接触機会を減らしながら、商品を購入し、サービスを享受できるインターネットサービスへの関心は高まっており、新規顧客獲得に向け営業を強化する。</p>
不 動 産 業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、住宅設備機器等の納入が遅れ、顧客への引渡し遅れが発生しており、3～5月期の売上は対前年比で1割程度減少している。販売面では、集客が図れない時期が2か月程続いており、今後売上に影響が出ることを懸念している。</p> <p>用地価格や建築コストは高止まりしているものの、住宅ローン金利の低水準や、住まいに利便性を求める傾向が高まっていることから、マンション市場は堅調に推移しており、さらに契約獲得に向けた販売活動や引渡計画を強化する。</p>

令和2年6月 兵庫県産業労働部調査

3. 地域の概況

地 域	業 種	概 況
神 戸	観 光 ・ レ ジ ャ ー	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、4、5月はほとんど営業できず、売上・利益ともに前年同期比9割減となった(4～6月期)。6月も客数は少なく、団体客の利用は無い。修学旅行や提携チケットの期限延長等の問い合わせは徐々に増えている。</p> <p>サーモグラフィーによる検温、施設消毒、アルコール消毒液・飛沫防止シートの設置、マスク着用など、安心して利用できる環境整備に取り組んでいる。</p>
	ゴ ム 製 品 業 製 造 業	<p>新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大で経済活動が停滞しており、景況感は悪い。4～6月期の売上は前年同期と比較すると3割程度減少している。</p> <p>感染症の収束は不透明であり、見通しが立っていない。原油価格の下落に伴い、原材料価格が下がっていることは、業況にプラスの影響を及ぼしている。</p>

		設備投資については、昨年度基幹システムを刷新した影響で、今年度は対前年比 5 割程度減少する計画である。
阪神南	金融業	<p>今年 3 月以降、仕入の停滞、外出自粛による飲食店への影響、売上の減少等、業績悪化に伴う借入の相談や、国・地方自治体の補助金制度等、7,000 件以上の相談を受けている。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、経済活動が停滞しており、売上の回復にはまだ時間がかかることが予想される。今後は、資金繰り悪化に伴う条件変更や倒産等が増えてくることも予想されるため、資金繰り相談や、収束後の営業戦略について支援する。</p>
	設備工事業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しており、設備工事に使用する機器や資材、部品調達が遅延している。物流や生産においても混乱が生じ、先行きが不透明な中、工事の延期や受注停止を行っている。</p> <p>顧客の要望により営業活動が制限され、受注機会が減少している。今後も当面、経済活動の停滞が予想され、見通しは立っていない。</p>
阪神北	非鉄金属業	<p>米中貿易摩擦の影響を懸念し、車載関連の半導体の前倒し受注があり、第 1 四半期の売上は対前年同期比で 2 割増加と大きく伸びた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、世界経済が停滞しており、自動車メーカーの工場の操業停止や半導体需要の減少により受注が落ち込むと予想されるため、今後の動向を注視する必要がある。</p>
東播磨	輸送用機械器具業	<p>今年度、設備投資を検討していた部門もあるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の需要が不透明であるため、現時点で計画は未定である。</p> <p>雇用については、通常通り定期採用を行っており、現時点で人手不足感はない。例年、海外工場で外国人の研修生を受け入れているが、今年は感染症の影響で中止となった。</p> <p>今後の見通しは立っていないが、需要の伸びが期待される分野に注力する。</p>
	鉄鋼業	<p>現時点では新型コロナウイルス感染症による影響は大きく出ていないが、輸送費の高騰が見られるため、今後の動向を注視する必要がある。従業員の感染症対策として、在宅勤務制度を促進している。</p> <p>世界的に再生可能エネルギーへのシフト傾向がある</p>

		ものの、今後も火力発電には一定のニーズがあるの見込んでおり、今年7月に運用開始予定の実証設備において、新開発技術の長期的な信頼性検証に取り組む。
北播磨	木材・木製品製造業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、ゴールデンウィークの住宅展示場での大型集客イベントが中止となり、受注が減少した。今後、個人の収入の減少に伴い、住宅購入者が減少することを懸念している。</p> <p>働き方改革を推進しており、ノー残業デーの導入や時間外労働の管理を徹底するなど、働きやすい職場作りに積極的に取り組んでいる。</p>
	宿泊業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、4月の利用客数が前年同月比で9割程度まで減少した。6月は宿泊利用客が前年同月程度まで回復し、全体として4割程度の減少となった。施設内のレストラン、宴会、研修での利用はまだ少なく、回復の兆しは今のところない。団体客の利用は、バスでの移動が必須となっており、回復までは時間を要すると見ている。</p>
中播磨	各種商品小売業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、食料品売り場を除く店舗の臨時休業を行ったことで、客数や売上は前年同期比で7割以上減少した(4~6月期)。中食、キッチン用品、衛生商品等の売上が大きく、衣料品、化粧品の上は不振である。緊急事態宣言等解除後の客数は徐々に回復しつつあるものの、集客催事の中止で売上は引き続き厳しい状況にある。</p>
	生産用機械機器製造業	<p>昨年度の第3四半期(10-12月期)までは堅調に推移していたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、取引先からの受注が大幅に制約され、工場の稼働率も低下し、売上利益は大きく減少した(4-6月期)。</p> <p>緊急事態宣言の解除以降は、経済活動が回復傾向にあるものの、先行きの不透明感が強く、発注側の対応を注視する必要がある。</p>
西播磨	各種商品小売業	<p>新型コロナウイルス感染症による外出自粛や在宅勤務等の影響で、家庭で食事をすることが増え、食料品の売上が昨年同時期よりも1割程度増加している(4-6月期)。客単価、客数も増加している。6月に緊急事態宣言が解除になったことで、学校給食も再開し、若干売上は減少すると見込んでいる。</p> <p>外出自粛が明け、買い物客も増えたことで、次なる感染症拡大も懸念されるため、引き続きマスクの着用やアルコール消毒などを徹底する。</p>

	金 融 業	<p>直近の管内景気動向調査によると、業況判断は低下している。特に製造業、卸売業が悪い。来期も悪化する見込みである。緊急事態宣言の解除により、小売業、サービス業、建設業については、わずかながら改善の見通しである。</p> <p>当金融機関では、事業者向け融資の件数は変わらずだが、運転資金の金額が増加している。消費者向け融資は、新型コロナウイルス感染症の影響により住宅資金や消費者資金の件数、金額が減少している。</p>
但 馬	宿 泊 業	<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受け、売上は昨年同期比で9割以上減少した(4-6 月期)。感染症対策として、旅館のフロントや土産店のレジに人が密集するのを防ぎ、今後の業務効率向上のためにキャッシュレス機器や無人チェックインシステムの導入を検討している。</p> <p>数年前から実施している外国人のインターンシップ受け入れが、感染症拡大の影響で実施できていないため、今後の人手不足を懸念している。</p>
	織 維 工 業	<p>新型コロナウイルス感染症による販売減少により、4～5 月は売上減少となった。新たに製造を始めた布製マスクの販売が好調で、6 月は前年度並みの売上となる見通しである。</p> <p>雇用では、技術職として高卒採用数を増やすために、新たに地域総合職の枠を設けたり、地元の高校を訪問するなど、積極的に採用活動に取り組んでいる。</p>
丹 波	そ の 他 の 製 造 業	<p>今年度は、新型コロナウイルスの影響で受注が大幅に減少し、4～6 月は対前年比で1割程度減収となる見込みである。また、住宅関連は、遅れて影響が出てくるため、今後さらに悪化すると見込んでいる。</p> <p>雇用は、ポストコロナ社会に向け、地方企業にも目が向けられるのではないかと考えており、オンライン面接等の活用により、広く人材の確保を図る。</p>
	そ の 他 の 製 造 業	<p>緊急事態宣言が解除された5月下旬以降、全国の販売店から注文が増加しており、4～5 月に落ち込んでいた売上も、6 月は前年を上回るまで回復している。釣りなどのアウトドアは需要が高まっていると思われ、取引先メーカーや販売店でも、業績が堅調に推移している。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、海外の主力生産工場の稼働率が下がっており、製品の入荷が追いつかず欠品が増えてきた。多くの販売店に広く行き渡るよう、出荷数を調整している商品もある。</p>

淡 路	その他のサービス業	<p>観光地やサービスエリアの飲食物販事業は、新型コロナウイルス感染症の影響で、4～5 月の売上が昨年同月比で8割減、6 月も客が戻らず3割減となった。</p> <p>今後についても観光バスなどの団体客が見込めず、感染症の再拡大が懸念されていることから、見通しは立っていない。</p> <p>採用は、現在一時的に停止しているが、感染症が収束次第、再開予定である。</p>
	電 気 機 械 器 具 製 造 業	<p>民生用電池は一定の需要はあるものの、充電用リチウムイオン電池などの需要は減少傾向にある上、韓国・中国の台頭により厳しい状況が続いている。このため、今年度の売上計画は昨年度と比べ下方設定となっている。</p> <p>今後は、自転車やバイクなど動力系のモジュール事業へのシフトなど、体制の見直しを図る。</p>

令和2年6月 県民局・県民センター調査

Ⅲ. 景況調査

Ⅰ. 景況調査について

○『D.I (ディフュージョン・インデックス)』による分析

D.I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、「良い」20%－「悪い」30%＝－10%となり、D.I. 値は－10 ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10 件	20%
不変	25 件	50%
悪い	15 件	30%
合計	50 件	100%

○引用する調査書と有効回答数について

本レポートの作成にあたり、但陽信用金庫が四半期毎に実施する「景気動向調査」の調査結果を引用しています。

(対象期間内における有効回答数)

	エリア	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
景気動向調査 (但陽信用金庫)	取引先全地域	434 件					
	東播磨地域※ ¹	177 件					
	姫路地域※ ²	150 件					
	朝来・神崎地域※ ³	85 件					
景気動向調査 ※業種別調査 (但陽信用金庫)	取引先全地域	160 件	44 件	58 件	65 件	77 件	30 件
	東播磨地域※ ¹	65 件	16 件	21 件	25 件	30 件	20 件
	姫路地域※ ²	49 件	24 件	21 件	20 件	28 件	8 件
中小企業景況調査 (福崎町商工会)	-	1 件	0 件	2 件	3 件	1 件	0 件

※1…加古川市、高砂市、稲美町、播磨町

※2…姫路市

※3…朝来市、神河町、市川町、福崎町

○業種の分類について

本レポートでは、飲食・宿泊業は「サービス業」とあわせて集計しています。

2. 概況（全業種総合）

《但陽信用金庫》

概況（全業種）	(434 社)			(177 社)			(150 社)			(85 社)		
	全地域			東播磨地域			姫路地域			朝来・神崎地域		
	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)
業況 D.I.	▲16.63	▲49.31	▲52.42	▲14.79	▲37.29	▲45.45	▲11.56	▲58.00	▲53.33	▲24.71	▲57.65	▲62.35
売上額 D.I.	▲20.38	▲53.92	▲39.63	▲15.88	▲45.20	▲37.85	▲21.09	▲58.67	▲34.67	▲25.88	▲62.35	▲45.88
収益 D.I.	▲19.43	▲53.46	▲39.17	▲15.29	▲43.50	▲34.46	▲18.37	▲58.67	▲36.00	▲27.06	▲63.53	▲48.24
資金繰り D.I.	▲3.80	▲19.40	▲18.06	0.00	▲15.82	▲11.86	0.68	▲17.45	▲14.19	▲16.47	▲28.24	▲30.59
前年比残業時間 D.I.	▲4.03	▲30.65	▲27.19	▲6.47	▲23.16	▲24.86	▲1.36	▲37.33	▲26.00	▲1.18	▲30.59	▲28.24
人手過不足 D.I.	▲33.25	▲7.39	▲8.10	▲36.47	▲7.91	▲7.95	▲32.88	▲6.71	▲5.37	▲27.06	▲1.18	▲8.24
前年 売上額	▲21.43	▲57.14	—	▲22.35	▲47.46	—	▲12.93	▲60.67	—	▲30.95	▲69.41	—
同月比 収益	▲20.29	▲55.53	—	▲17.06	▲44.07	—	▲13.70	▲60.00	—	▲34.52	▲68.24	—

【2020 年 4 月～6 月期実績】：全地域でさらに低下するという厳しい状況。

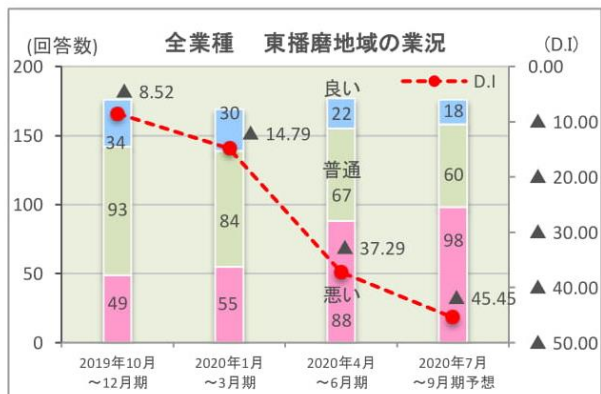
当期の全地域・全業種における業況 D.I は▲49.31 となり、前期比 32.68 ポイント低下しました。「悪い」と回答した先が 6 割近く占めており、大きく低下した要因となっています。東播磨地域は、前期比 22.5 ポイント低下の▲37.29、姫路地域は前期比 46.44 ポイントと大幅に低下し▲58.00、朝来・神崎地域は前期比 32.94 ポイント低下の▲57.65 となるなど、全地域、全業種で大幅に低下しており、中でもコロナの影響が大きいと考えられる「サービス業」は前期比 49.23 ポイントの低下となっています。人手過不足 D.I は▲7.39 と、前期比 25.86 ポイント上昇し、人手不足感は緩和していますが、これはコロナの影響による事業の縮小や一時的休業が原因と考えられ、巻末の特別調査「新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について」においても、8 割以上の企業が何らかのコロナの影響を受けていると答えられています。

【2020 年 7 月～9 月期予想】：全地域で下降ながら、姫路地域では微増。

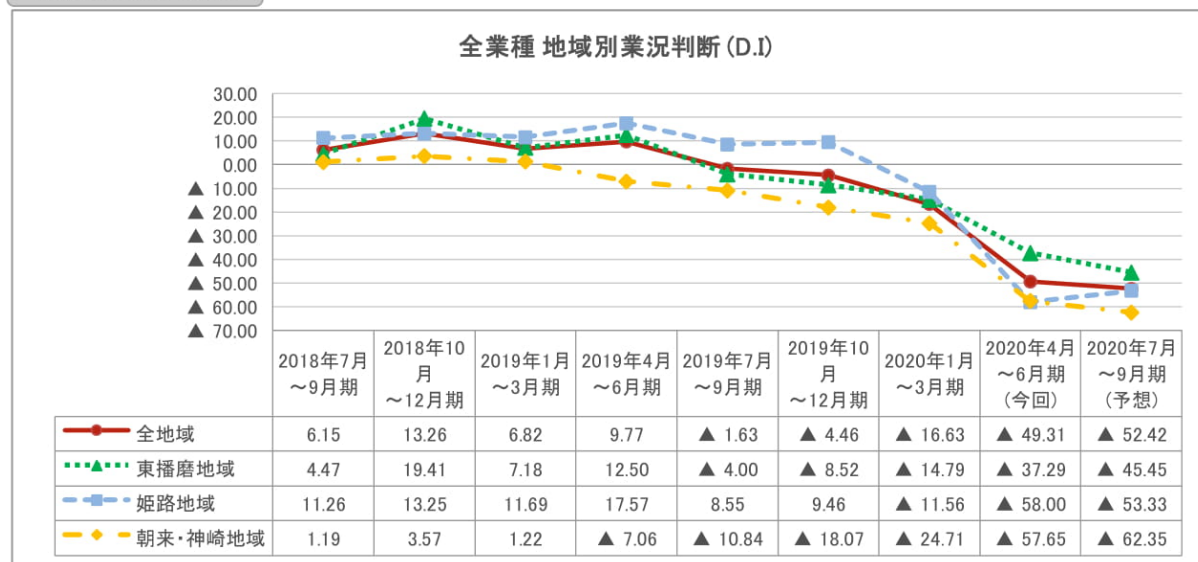
来期の全地域・全業種における予想業況 D.I は▲52.42 で、今期を 3.11 ポイント下回る予想です。姫路地域では今期比 4.67 ポイント上昇するものの、▲53.33 ポイントの大きなマイナスとなり、東播磨地域では、今期比 8.16 ポイント低下の▲45.45、朝来・神崎地域では今期比 4.7 ポイント低下の▲62.35 と今期比低下するうえに大きなマイナスとなる予想です。業種別では、サービス業・不動産業・小売業・卸売業・が微増となるものの、製造業・建設業は今期からさらに低下すると予想しています。人手過不足 D.I は▲8.10 と 0.71 ポイント低下する予想です。

新型コロナウイルスの感染拡大は一時的な終息傾向がみられましたが、第 2 波・第 3 波の到来が想定されるなど、その影響はなお強く、国内のみならず全世界の経済に大きな打撃を与えています。

地域別業況



地域別業況の推移



《福崎町商工会》

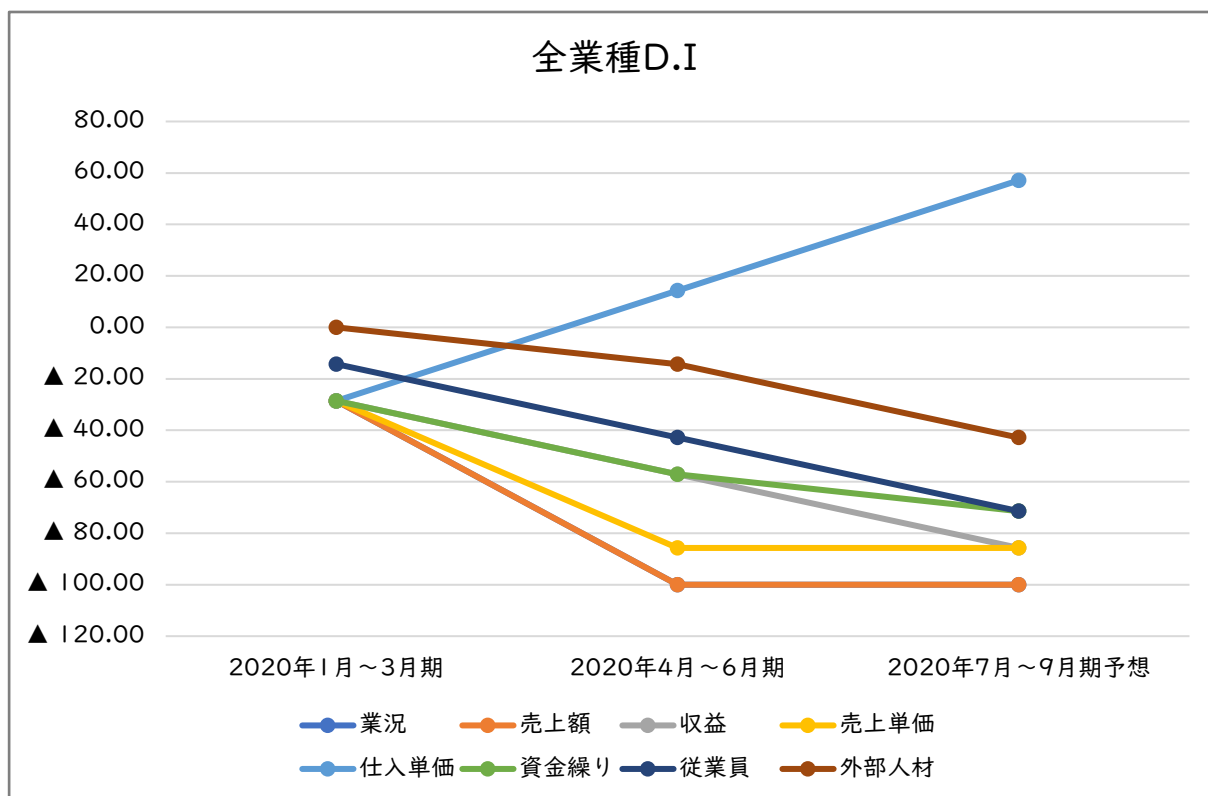
(全業種)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期	2020 年 7 月～9 月期予想
業 況	▲28.57	▲100.00	▲100.00
売 上 額	▲28.57	▲100.00	▲100.00
収 益	▲28.57	▲57.14	▲85.71
売 上 単 価	▲28.57	▲85.71	▲85.71
仕 入 単 価	▲28.57	14.29	57.14
資 金 繰 り	▲28.57	▲57.14	▲71.43
従 業 員	▲14.29	▲42.86	▲71.43
外 部 人 材	0.00	▲14.29	▲42.86

[2020 年 4～6 月期]：全体的に低下傾向の厳しい状況

当期の業況 D.I は▲100.00 となり、前期の▲28.57 ポイントから 71.43 ポイント低下しました。また、売上額・収益・売上単価・資金繰り・従業員・外部人材に関する D.I が低下と厳しい状況、一方で仕入単価に関する D.I のみ上昇しました。

[2020 年 7～9 月期]：更に低下の予想

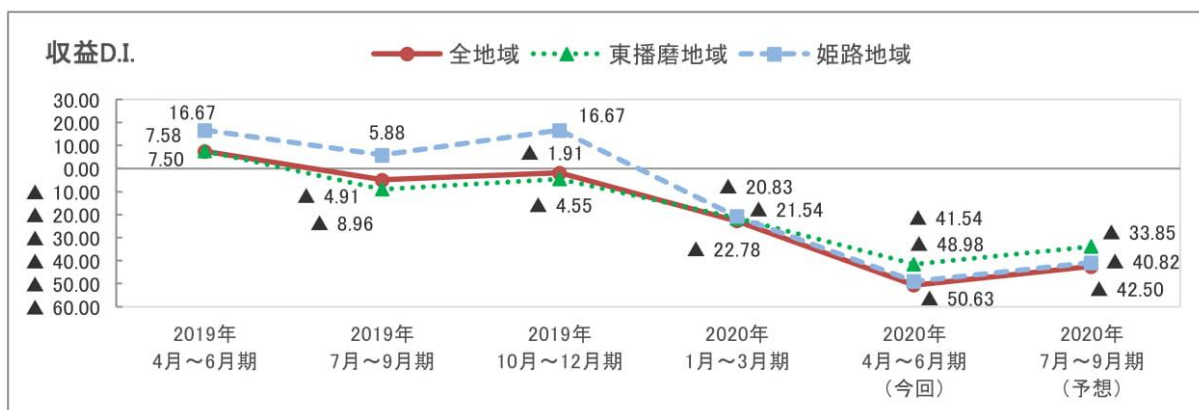
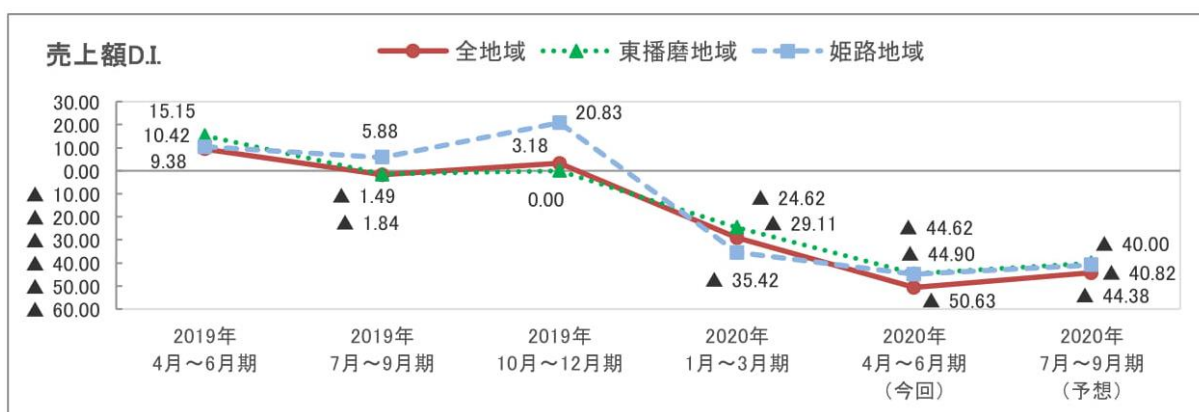
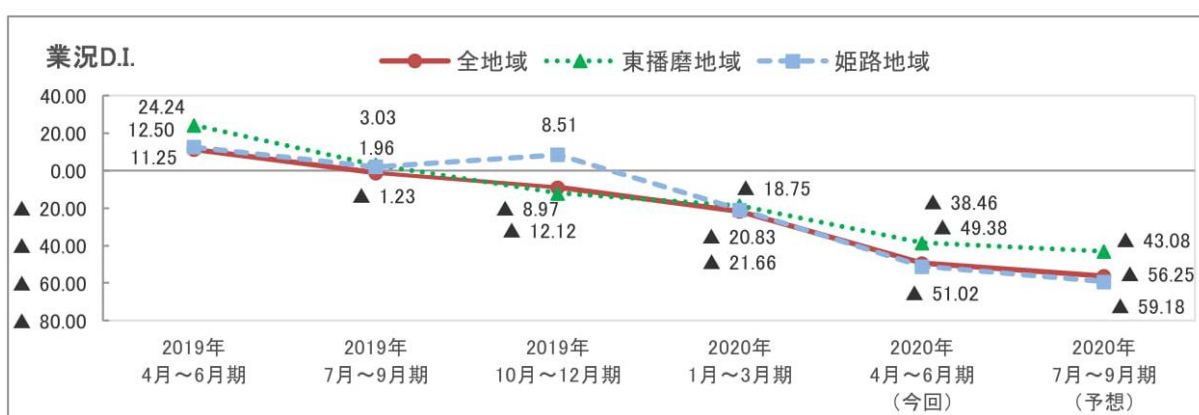
来期の予想業況 D.I は▲100.00 で、今期と同じポイント予想です。ただし、マイナスであることには変わりがなく、依然厳しい業況の予想です。収益・資金繰り・従業員・外部人材に関する D.I が低下し、厳しい状況におかれる予想です。仕入単価 D.I のみポイント上昇の予想です。



3. 業種ごとの集計《但陽信用金庫》

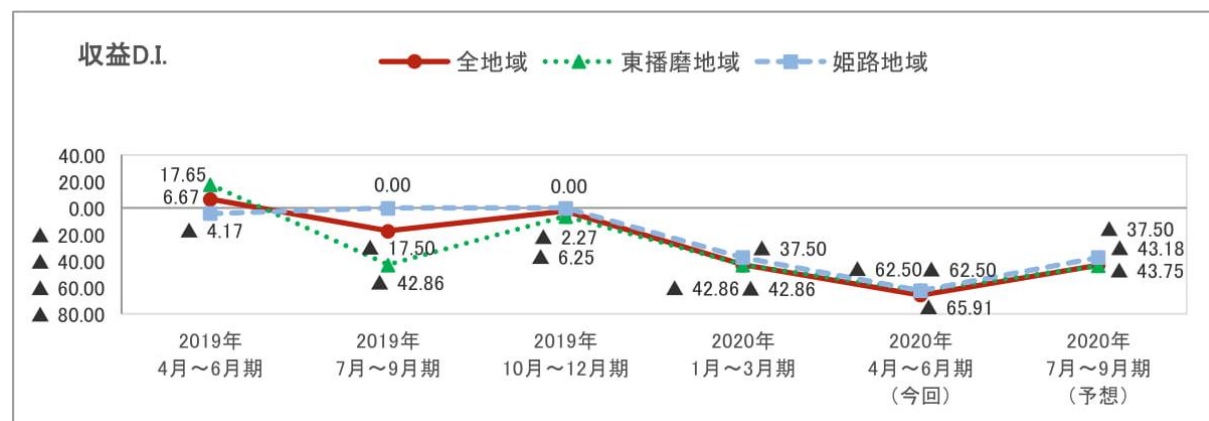
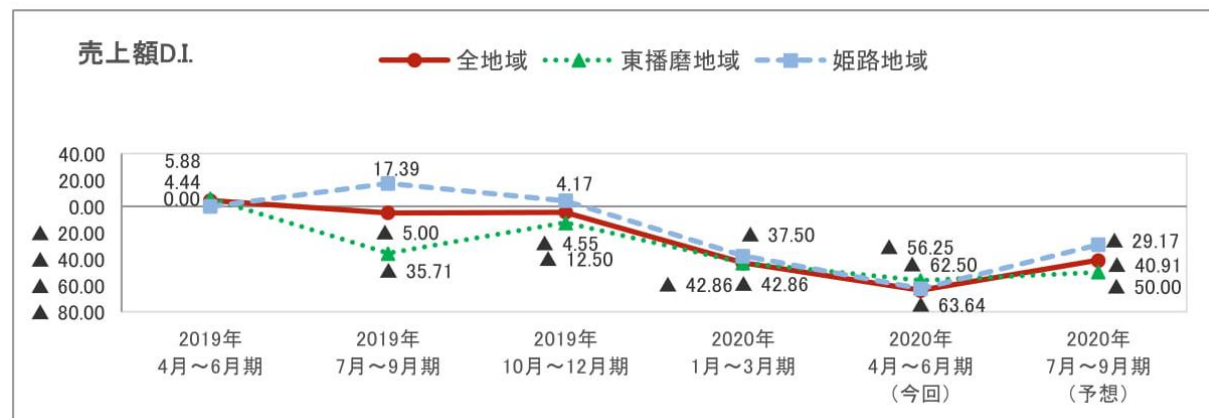
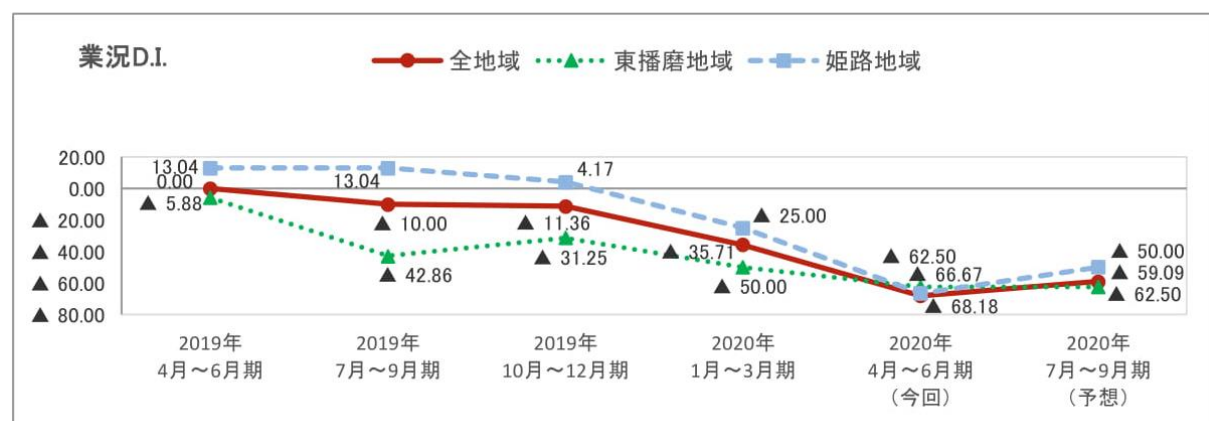
(1) 製造業

製造業	(160 社)			(65 社)			(49 社)		
	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)
業況 D.I.	▲21.66	▲49.38	▲56.25	▲18.75	▲38.46	▲43.08	▲20.83	▲51.02	▲59.18
売上額 D.I.	▲29.11	▲50.63	▲44.38	▲24.62	▲44.62	▲40.00	▲35.42	▲44.90	▲40.82
受注残 D.I.	▲25.32	▲50.63	▲48.75	▲26.15	▲46.15	▲46.15	▲29.17	▲46.94	▲44.90
収益 D.I.	▲22.78	▲50.63	▲42.50	▲21.54	▲41.54	▲33.85	▲20.83	▲48.98	▲40.82
販売価格 D.I.	▲5.70	▲13.75	▲11.95	▲1.54	▲4.62	▲3.08	▲6.25	▲10.20	▲12.50
原材料価格 D.I.	6.96	▲6.25	▲4.40	7.69	▲1.54	▲1.54	6.25	▲2.04	▲4.17
原材料在庫 D.I.	▲6.37	▲1.25	▲3.77	▲1.54	3.08	0.00	▲4.17	4.08	0.00
資金繰り D.I.	▲0.64	▲18.24	▲20.25	0.00	▲18.46	▲13.85	10.42	▲10.42	▲12.77
前年比残業時間 D.I.	▲8.23	▲46.25	▲39.38	▲13.85	▲35.38	▲33.85	2.08	▲51.02	▲32.65
人手過不足 D.I.	▲29.75	1.88	0.00	▲21.54	1.54	▲4.69	▲39.58	0.00	4.08
設備 D.I.	▲12.66	▲8.13	▲10.00	▲10.77	▲6.15	▲7.69	▲10.42	▲14.29	▲16.33
設備投資実施割合	28.48	19.28	24.70	22.39	17.65	19.12	28.00	10.42	20.41
前年 同期比	売上額 ▲28.03	▲59.38	—	▲29.23	▲47.69	—	▲22.92	▲59.18	—
	収益 ▲25.00	▲60.63	—	▲26.15	▲47.69	—	▲12.77	▲61.22	—



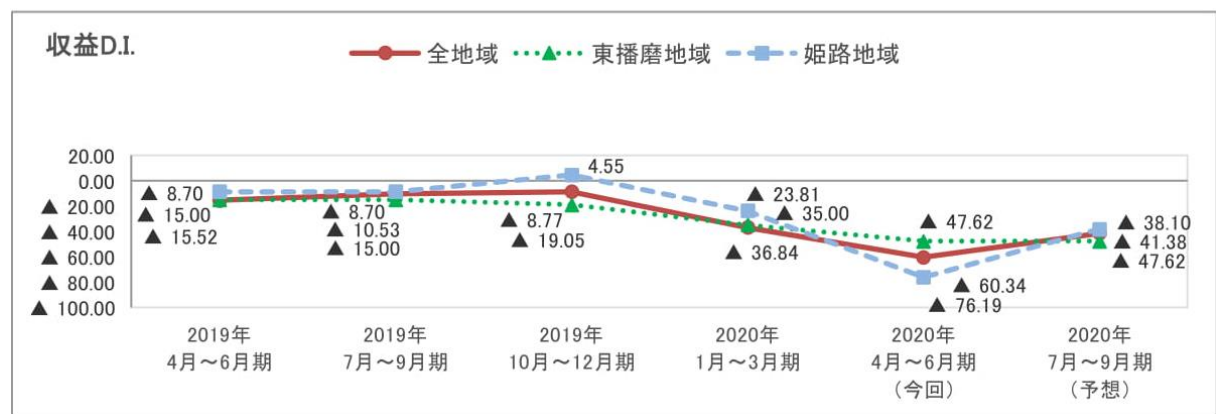
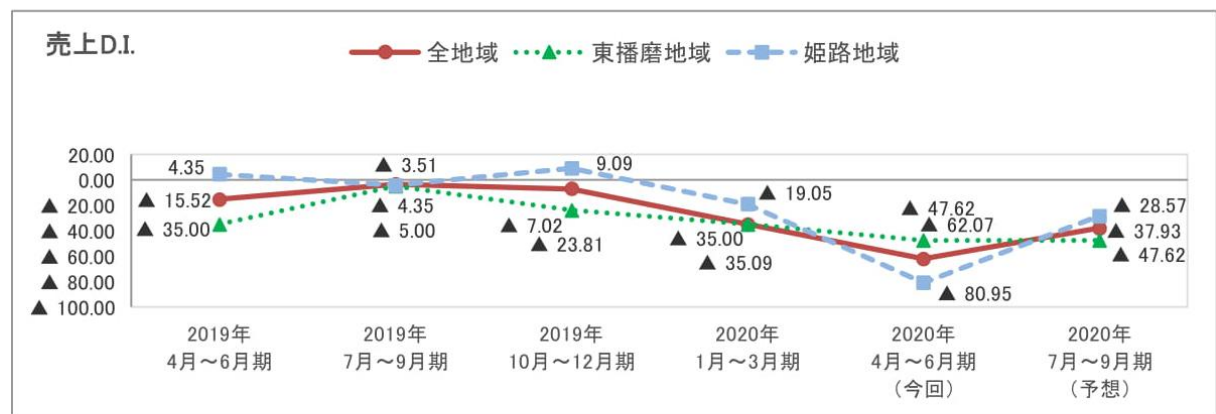
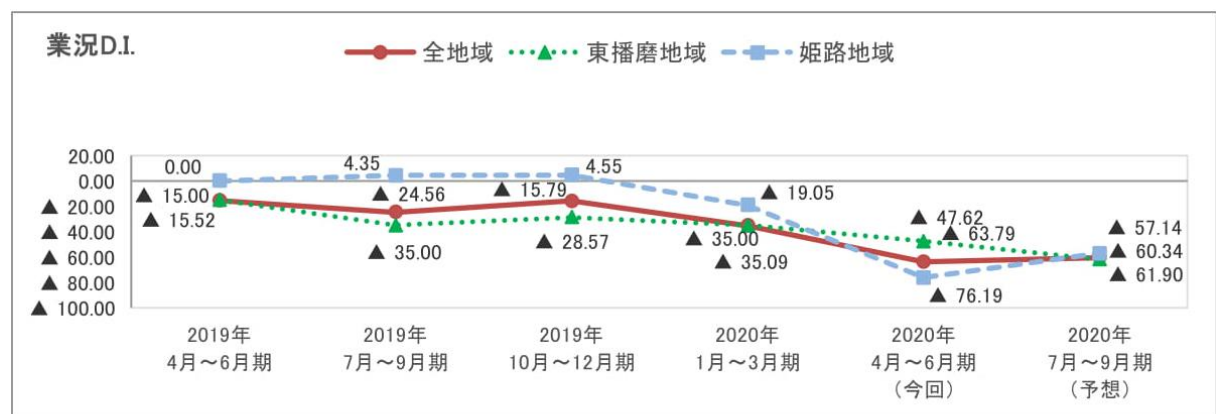
(2) 卸売業

卸売業	(44 社)			(16 社)			(24 社)		
	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)
業況 D.I.	▲35.71	▲68.18	▲59.09	▲50.00	▲62.50	▲62.50	▲25.00	▲66.67	▲50.00
売上額 D.I.	▲42.86	▲63.64	▲40.91	▲42.86	▲56.25	▲50.00	▲37.50	▲62.50	▲29.17
収益 D.I.	▲42.86	▲65.91	▲43.18	▲42.86	▲62.50	▲43.75	▲37.50	▲62.50	▲37.50
販売価格 D.I.	▲19.05	▲20.45	▲18.18	▲21.43	▲25.00	▲25.00	▲16.67	▲16.67	▲12.50
仕入価格 D.I.	2.38	▲6.82	▲13.64	▲7.14	0.00	▲25.00	12.50	▲8.33	▲4.17
在庫 D.I.	0.00	▲2.27	0.00	0.00	0.00	0.00	4.17	0.00	4.17
資金繰り D.I.	▲26.19	▲36.36	▲25.00	▲21.43	▲31.25	▲25.00	▲29.27	▲37.50	▲25.00
前年比残業時間 D.I.	0.00	▲31.82	▲25.00	0.00	▲18.75	▲25.00	4.17	▲33.33	▲20.83
人手過不足 D.I.	▲26.19	▲15.91	▲4.55	▲35.71	▲25.00	0.00	▲25.00	▲12.50	▲8.33
設備 D.I.	▲14.29	▲6.98	▲4.65	▲14.29	0.00	0.00	▲16.67	▲12.50	▲8.33
設備投資実施割合	17.78	13.95	20.00	26.67	12.50	23.53	15.38	17.39	16.67
前年 同期比	売上額	▲33.33	▲63.64	—	▲50.00	—	▲20.83	▲58.33	—
	収益	▲38.10	▲56.82	—	▲42.86	—	▲33.33	▲50.00	—
	販売価格	▲14.29	▲11.36	—	▲21.43	—	▲8.33	▲8.33	—



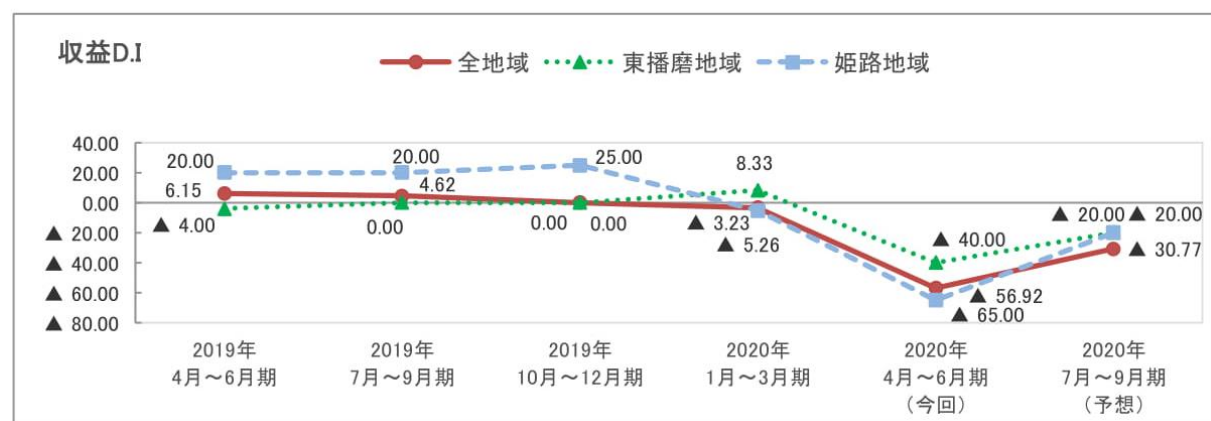
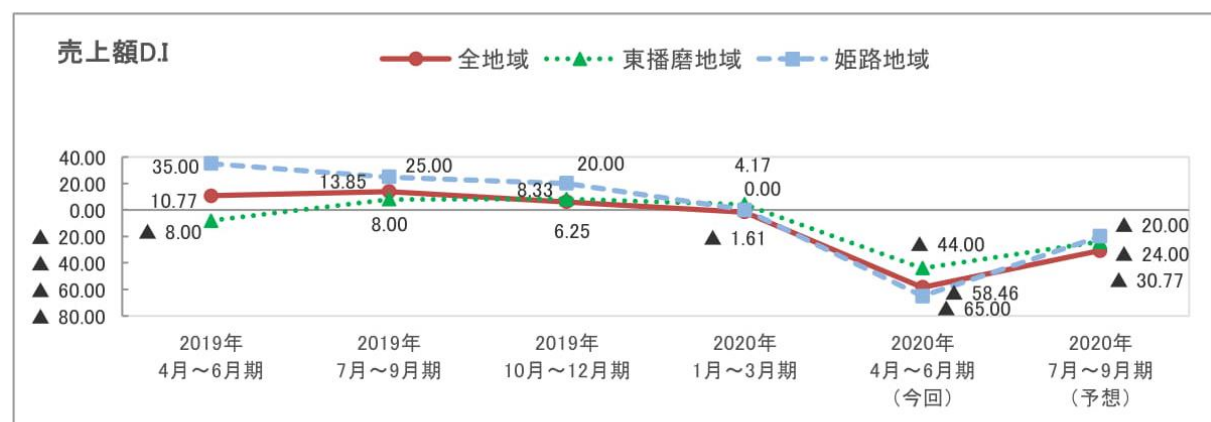
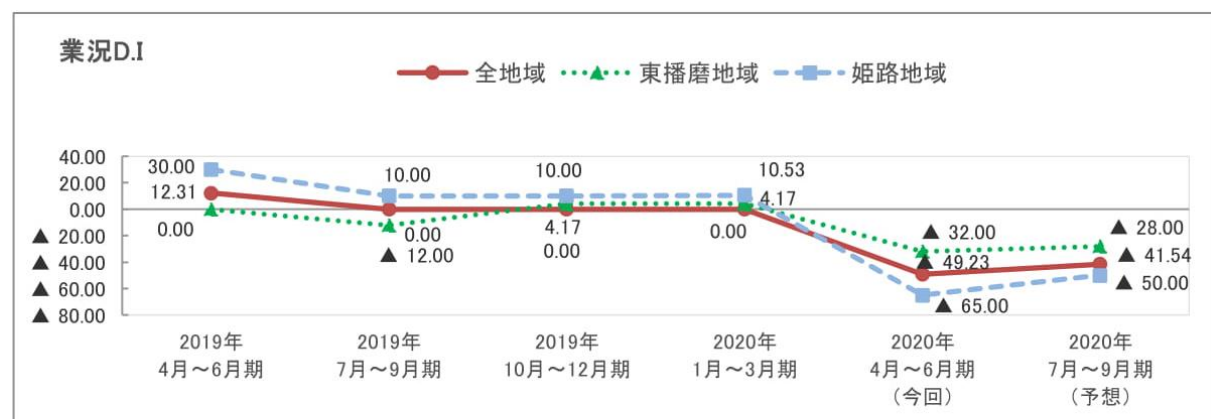
(3) 小売業

小売業	(58 社)			(21 社)			(21 社)		
	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)
業況 D.I.	▲35.09	▲63.79	▲60.34	▲35.00	▲47.62	▲61.90	▲19.05	▲76.19	▲57.14
売上額 D.I.	▲35.09	▲62.07	▲37.93	▲35.00	▲47.62	▲47.62	▲19.05	▲80.95	▲28.57
収益 D.I.	▲36.84	▲60.34	▲41.38	▲35.00	▲47.62	▲47.62	▲23.81	▲76.19	▲38.10
販売価格 D.I.	▲8.77	▲15.52	▲12.07	▲25.00	▲4.76	▲19.05	4.76	▲23.81	▲9.52
仕入価格 D.I.	0.00	▲13.79	▲1.72	▲20.00	▲23.81	▲14.29	14.29	▲9.52	9.52
在庫 D.I.	▲1.75	5.26	1.75	0.00	0.00	▲4.76	▲4.76	4.76	4.76
資金繰り D.I.	▲15.79	▲22.41	▲17.24	▲25.00	▲19.05	▲19.05	4.76	▲19.05	▲4.76
前年比残業時間 D.I.	▲1.75	▲13.79	▲15.52	▲15.00	▲14.29	▲19.05	4.76	▲14.29	▲14.29
人手過不足 D.I.	▲21.43	▲12.07	▲13.79	▲45.00	▲9.52	▲9.52	▲10.00	▲4.76	0.00
設備 D.I.	▲8.77	▲8.62	▲10.34	▲15.00	0.00	▲4.76	0.00	▲9.52	▲9.52
設備投資実施割合	14.81	12.28	14.55	25.00	9.09	22.73	5.56	10.53	5.56
前年 同期比	売上額	▲29.82	▲63.79	—	▲40.00	▲57.14	—	▲4.76	▲80.95
	収益	▲26.32	▲60.34	—	▲35.00	▲52.38	—	▲4.76	▲71.43
	販売価格	▲12.28	▲10.34	—	▲20.00	▲4.76	—	0.00	▲14.29



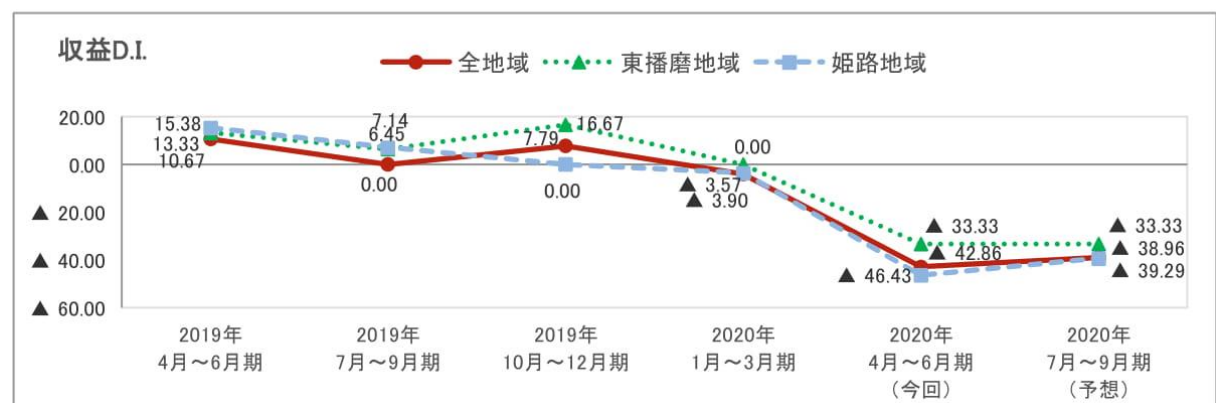
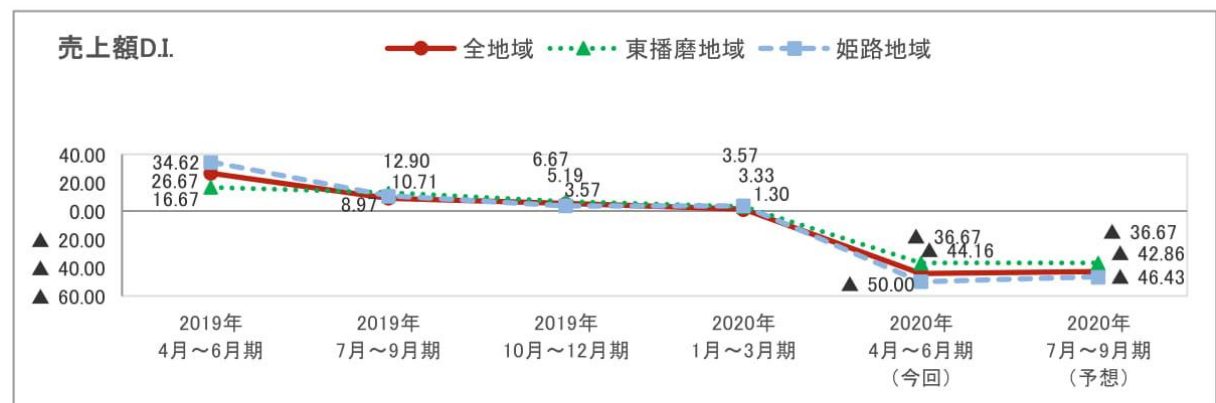
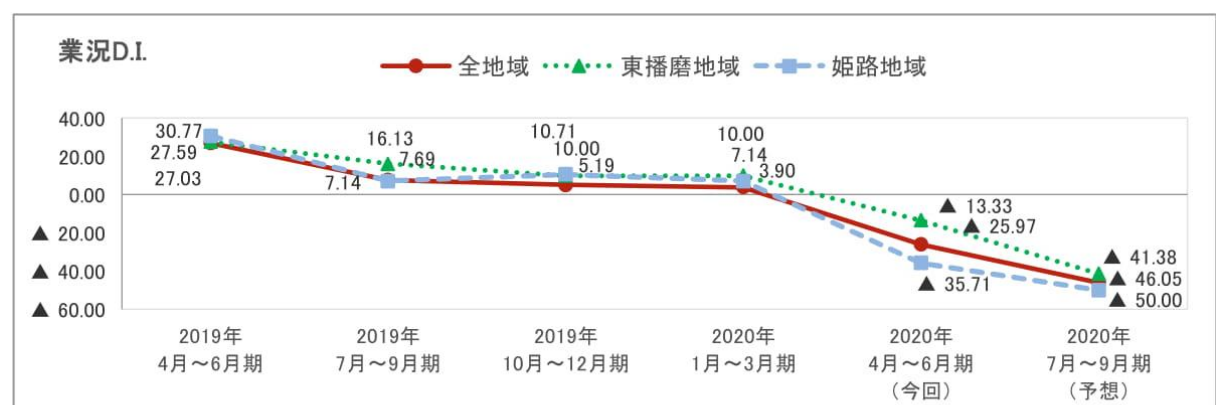
(4) サービス業

サービス業	(65 社)			(25 社)			(20 社)		
	全地域	東播磨地域	姫路地域	全地域	東播磨地域	姫路地域	全地域	東播磨地域	姫路地域
サービス業	2020年 1月～3 月期	2020年 4月～6 月期 (今回)	2020年 7月～9 月期 (予想)	2020年 1月～3 月期	2020年 4月～6 月期 (今回)	2020年 7月～9 月期 (予想)	2020年 1月～3 月期	2020年 4月～6 月期 (今回)	2020年 7月～9 月期 (予想)
業況 D.I.	0.00	▲49.23	▲41.54	4.17	▲32.00	▲28.00	10.53	▲65.00	▲50.00
売上額 D.I.	▲1.61	▲58.46	▲30.77	4.17	▲44.00	▲24.00	0.00	▲65.00	▲20.00
収益 D.I.	▲3.23	▲56.92	▲30.77	8.33	▲40.00	▲20.00	▲5.26	▲65.00	▲20.00
料金価格 D.I.	6.45	▲9.23	▲9.23	12.50	0.00	▲8.00	5.26	▲20.00	▲10.00
材料価格 D.I.	9.68	▲6.15	1.54	16.67	4.00	▲4.00	▲5.26	▲15.00	10.00
資金繰り D.I.	4.84	▲21.54	▲18.46	20.83	▲12.00	▲8.00	▲5.26	▲25.00	▲25.00
前年比残業時間 D.I.	▲1.61	▲20.00	▲18.46	▲4.17	▲24.00	▲24.00	5.26	▲20.00	▲10.00
人手過不足 D.I.	▲45.16	▲9.23	▲10.77	▲54.17	4.00	0.00	▲26.32	▲10.00	▲10.00
設備 D.I.	▲11.29	▲7.69	▲6.25	▲12.50	▲8.00	▲8.00	▲10.53	▲20.00	▲15.79
設備投資実施割合	27.69	21.21	22.73	33.33	23.08	15.38	31.58	20.00	30.00
前年	売上額	▲9.84	▲56.92	—	▲12.50	▲44.00	—	0.00	▲55.00
同期比	収益	▲9.84	▲52.31	—	0.00	▲36.00	—	▲10.53	▲55.00



(5) 建設業

建設業	(77 社)			(30 社)			(28 社)		
	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)
業況 D.I.	3.90	▲25.97	▲46.05	10.00	▲13.33	▲41.38	7.14	▲35.71	▲50.00
売上額 D.I.	1.30	▲44.16	▲42.86	3.33	▲36.67	▲36.67	3.57	▲50.00	▲46.43
受注残 D.I.	2.60	▲37.66	▲42.86	▲3.33	▲13.33	▲36.67	▲3.57	▲50.00	▲42.86
施工高 D.I.	5.19	▲27.27	▲36.36	6.67	▲3.33	▲26.67	7.14	▲42.86	▲35.71
収益 D.I.	▲3.90	▲42.86	▲38.96	0.00	▲33.33	▲33.33	▲3.57	▲46.43	▲39.29
請負価格 D.I.	▲1.30	▲18.18	▲20.78	3.33	▲6.67	▲20.00	▲3.57	▲14.29	▲17.86
材料価格 D.I.	19.48	0.00	2.60	23.33	3.33	3.33	10.71	7.14	7.14
在庫 D.I.	▲3.90	▲5.19	▲7.79	0.00	▲6.67	▲6.67	▲7.14	0.00	▲3.57
資金繰り D.I.	▲1.30	▲10.39	▲15.58	3.33	3.33	0.00	7.14	▲14.29	▲14.29
前年比残業時間 D.I.	▲2.60	▲22.08	▲22.08	3.33	▲6.67	▲13.33	▲17.86	▲46.43	▲39.29
人手過不足 D.I.	▲45.45	▲17.11	▲18.42	▲46.67	▲20.00	▲16.67	▲57.14	▲14.81	▲22.22
設備 D.I.	▲5.19	▲3.90	▲6.49	3.33	6.67	6.67	▲3.57	▲7.14	▲14.29
設備投資実施割合	27.16	25.64	19.74	32.26	26.67	13.79	24.14	27.59	21.43
前年 同期比	売上額	▲10.39	▲44.16	—	▲3.33	▲33.33	—	▲3.57	▲46.43
	収益	▲11.69	▲44.16	—	0.00	▲30.00	—	▲7.14	▲53.57



(6) 不動産業

不動産業	(30 社)			(20 社)			(8 社)		
	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)	2020 年 1 月～3 月期	2020 年 4 月～6 月期 (今回)	2020 年 7 月～9 月期 (予想)
業況 D.I.	▲15.38	▲53.33	▲46.67	▲17.65	▲45.00	▲50.00	▲14.29	▲87.50	▲37.50
売上額 D.I.	▲7.69	▲56.67	▲26.67	0.00	▲50.00	▲30.00	▲28.57	▲87.50	▲25.00
収益 D.I.	▲7.69	▲56.67	▲30.00	▲5.88	▲50.00	▲35.00	▲14.29	▲87.50	▲25.00
販売価格 D.I.	▲7.69	▲23.33	▲13.33	▲5.88	▲25.00	▲15.00	▲14.29	▲37.50	▲12.50
仕入価格 D.I.	12.00	6.90	0.00	25.00	5.26	5.26	▲14.29	0.00	▲25.00
在庫 D.I.	▲12.00	▲3.45	0.00	▲6.25	5.26	5.26	▲28.57	▲25.00	▲12.50
資金繰り D.I.	11.54	▲13.33	▲3.33	11.76	▲25.00	▲10.00	14.29	12.50	12.50
前年比残業時間 D.I.	0.00	▲23.33	▲20.00	5.88	▲20.00	▲20.00	▲14.29	▲37.50	▲25.00
人手過不足 D.I.	▲26.92	▲6.67	▲13.33	▲41.18	▲10.00	▲20.00	0.00	0.00	0.00
前年 同期比	売上額 ▲3.85 収益 0.00	▲56.67 ▲53.33	— —	0.00 5.88	▲50.00 ▲45.00	— —	▲14.29 ▲14.29	▲87.50 ▲87.50	— —

